

管理者のための

問題発見力(気づき力)の高め方研修



管理者や第三者の**関わり**が従業員の問題発見力に大きな影響を与える

ターゲット 次のような**問題**は発生していませんか？

- ・自分が問題として気づいていることが、部下は問題として気づかない！
- ・部下が認識している問題は漠然としている！
- ・部下が認識している問題はお願い事や他人への批判であり、すべて他責！
- ・問題を問題として正しく気づけていない！
- ・部下の問題発見力をどのように高めて良いかわからない！

研修のねらい 問題発見力(気づき力)は教育・訓練により**改善**できます！

問題解決のプロセスにて最初の起点となるのが問題発見です。問題を問題として発見できなければ、改善することはできません。また改善の成果の大きさや結果の良し悪しはすべて問題発見力にかかっています。問題の意味を理解し、ポイントを押さえ、訓練すれば、すぐにでも問題発見力は高めることができ、実践で活かすこともできます。

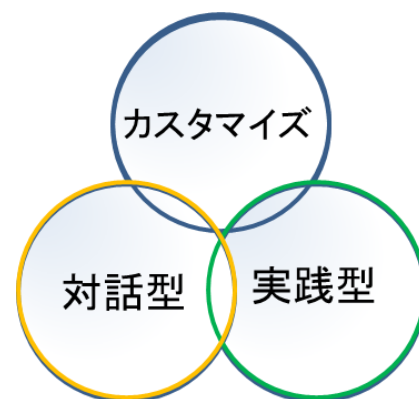
本研修では問題そのものの意味の理解から自身が認識している問題の特性の分析、またなぜ問題解決に至らないのかを理解することにより、部下に対してどのように関わり、問題発見力(気づきの感度)を向上させるかを習得して頂きます。

【標準プログラム】 現場にある実際の問題を活用し、実践的に学びます！

時 間	研 修 内 容
1 日 目	9:00~12:00 1. オリエンテーション ・研修目的、進め方の説明 2. 問題の意味の理解(気づくとはどういうことか) ①問題とは ②人の認識プロセス 3. 問題の分析 ①自身が認識している問題の分析 ②自身の特性の理解 ※ワイガヤやワークを用いてお互いの問題認識の特性に気づいて頂きます
	13:00~15:00 4. 問題発見力(問題認識)向上に向けた管理者としての役割認識Ⅰ ①部下の問題認識について ②想定される部下が認識している問題の抽出 ③想定される部下の問題の分析 ※ワイガヤ形式にてお互いの改善点に気づいて頂きます 5. ケーススタディ 6. 自身の改善点の発表 ①次回に向けた問題発見における改善点の発表
2 日 目	9:00~14:00 7. 問題発見力(問題認識)向上に向けた管理者としての役割認識Ⅱ ①部下から聞き取りした問題の分析 ②部下の問題認識の課題抽出 ③管理者としての関わり案の抽出 8. 問題発見力向上に向けた手立てについて講義
	14:00~15:00 9. 現場課題・管理者自身の課題の発表会(グループ・個人毎) 10. クロージング

経営維新の研修・セミナー

3つの特徴



※上記プログラムは標準プログラムです。ご要望に応じて内容・期間等についてアレンジが可能です。